

1 実施事項名	町税・使用料等の収納率の向上			2 担当課	各関係課 (主:財務課)					
3 現状・問題点・必要性(なぜやるのか)	税及び使用料滞納者は重複しているケースが多い。関係各課担当者ごとに滞納整理を行っているが、滞納者への対応が不十分である。									
4 対象等(なにを・だれを)	滞納者									
5 実施内容(何をどのようにやるのか)	税及び使用料等の滞納整理の手法として、関係各課で情報交換を行い、担当者が連携して徴収する。									
6 成果(どうなるのか)	滞納額及び滞納者の減少									
7 活動指標(何をどれだけやるのか)	指標名	目標値	定義・算定式	8 工程表(いつ完了するのか) 上段:計画 下段:実績						
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	~	
				4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
	庁内検討会の開催	5回	平成17年度中に連携方策の検討							
	検討案に基づく取組		平成18年度から実施							
9 効果額(いくら節減できるのか)	(単位:万円)									
10 達成率(いくら達成できたのか)	(単位:%)			100						
11 実施状況(どうやったのか)	町税・使用料等収納率推進部会 3回開催 町税・使用料等収納率推進部会を開催し、徴収業務を関係課が協力し、強化していく方針のも 文書催告等の通知の徹底、各関係課の情報を共有化し連携を図った。									
(未達成の場合)原因及び今後の対策(これからどうするのか)	各課ごとに行っていた滞納者への対応を整備し、一本化していくことにより、今後の徴収対策として、具体的にどのような徴収方法にするのか、滞納者リスト、滞納状況、滞納処分状況などを総括的に整理予定。									